

まほろば



2016.12
第184号

マルコ・ブンバシレビイッチ教授特別講演会報告

去る平成 28 年 11 月 21 日（月）、アートホテル弘前シティにてセルビア共和国の首都ベオグラードから、マルコ・ブンバシレビイッチ教授をお招きして特別講演会を開催致しましたので報告します。

教授は、11 月 17-18 日広島市で開催された第 43 回日本マイクロサージャリー学会での特別講演に呼ばれ、ご長男のボヤ（医学部最終学年）とご一緒に来日されました。実は私は年長ということもあり教授を“マルコ”と呼ぶ仲ですが、1993 年のソウルでの国際学会で知り合いになって以来の付き合いです。1996 年 9 月に 19 歳のバスケットボール選手の舟状骨偽関節手術に呼ばれ、セルビア（当時は新ユーゴスラビア連邦共和国）で初めて Herbert screw を使用しました。当時は、バルカン半島の火薬庫ユーゴスラビアと称され、ボスニア・ヘルツゴビナをめぐる不幸な戦争が一応終結し、やっと経済封鎖をとかれただばかりの頃でした。その 3 年後の 1999 年にコソボ紛争により『NATO 空爆』を受けました。国際法廷にて当時の大統領ミロセビッチ氏が有罪となり監中死しました。ところが、本年 5 月に無罪となつたのです。NATO によって劣化ウラン爆弾まで落とされたセルビアの人々のことを思うと、いたたまれない気持ちです。

さて、講演は『四肢挫滅損傷の治療』と題してお話しいただきました。歴史的な背景から『戦争による多発外傷の治療』の第一人者であり、127 名の聴講者が初めて目にする外傷に対する治療の考え方、マイクロサージャリー・創外固定器を駆使した素晴らしい再建を紹介いただき感銘を受けました。

さらに、セルビアの歴史／文化をはじめスポーツなどもご紹介いただきました。ご本人自身がユーゴスラビアにおけるキックボクシングのパイオニアであり、サッカーのストイコビッチやテニスのジョコビッチと親交が有り、皆がよく知っているニコラ・テスラーについても言及されました。あつという間の一時間でした。

お礼の品として、マルコには病院から『このこけしのようにほのぼのと・・・鳴子こけし』を、奥さんベセナ・お嬢さんアナ・ボヤには高橋看護部長から『爽やかな風をと・・・南部鉄器の風鈴』が渡されました。

マルコ・ブンバシレビイッチ教授とボヤは弘前をとても気に入つてまた来たいと言って帰りました。皆さんのお陰です。有り難うございました。

特別統括病院長：藤 哲



第46回 ひろさき周産期医療連絡会

11月5日第46回ひろさき周産期医療連絡会が当院研修センターで開催されました。一般演題が当院から2題、弘前大学産婦人科から1題、大館市立総合病院から1題あり興味のある演題で活発な議論がかわされました。当院産婦人科では年々お産の数が増加しているにも関わらず、母子センター小児科に入院する児は増加がなく産科での管理が適切に行われていることがうかがわれました。

メンタルヘルスに関する演題が2題あり大変参考になったとの意見がありました。特別講演は県周産期母子医療センター長の尾崎先生から青森県における周産期医療の現状と問題点に関してご講演をいただき、講演後のアンケート結果でも充実した内容と評価をいただきました。勉強になったとの意見が多く、参加者を増やして周産期医療の向上をめざしていくことが課題と思われました。

小児科部長：杉本 和彦



消防訓練を終えて

先月の地震想定防災訓練に引き続き、11月8日に夜間の火災想定で消防訓練を行いました。

出火場所となった4階病棟では、2名の夜勤看護師が、互いに連携を取り、通報、初期消火、模擬患者40名の避難を行いました。

夜間想定ということで、当直看護師長、他病棟勤務者、事務当直者、官舎居住者が応援に駆けつけ、それぞれが患者さんの状況を確認し、安全に避難場所へと誘導することができました。

夜間の病棟勤務者は少ないため、火災発生時には、勤務者がそれぞれの役割を落ち着いて担うことが必要です。そして、患者さんが安全な行動がとれるように、また、応援者への指示など、当該部署の勤務者と当直看護師長の適切な指示・誘導の声が重要であることを再認識しました。

今回の訓練内容・評価を全職員で共有し、いつでも患者様に安全と安心を与えられるようにしたいと思います。

外来B看護師長：小笠原 麗子





おせち料理のいわれ



今年も残すところあとわずか。もうすぐ新年の幕開けですね。お正月といえば、おせち料理を食べるご家庭も多いのではないでしょうか？おせち料理には、それぞれいわれがあり、始まる1年間への願いが込められています。どのような意味があるか少しご紹介します。

え び：加熱するとえびの背が丸くなることから、腰が曲がるまで健康で長生きするようにという願いがこもっています。

数の子：子どもがたくさん生まれて代々栄えるようにという意味があります。

きんとん：財宝に例えて、今年も豊かな生活が送れるようにと願いをこめた縁起物です。

黒豆：「まめ」は丈夫、健康を意味する言葉です。今年も1年まめで元気に過ごせるようにという願いがこもっています。

昆布巻き：「喜ぶ」にかけていて、おめでたい料理です。

当院でも、おせちを毎年提供しています。入院中の患者さんにもお正月を楽しんでいただけるよう、おいしいおせちを作ります。皆さんも、2017年が素晴らしい年になることを祈って、日本の伝統的な食文化を楽しみましょう！！

栄養士：榎本 雄介



シリーズ「リハビリ」より～

Q&A(言語聴覚士)

今回で最終回！言語聴覚士(ST)さんにお仕事について話を伺います。

① STとはどのような仕事？

言葉を話す・聞く・食べ物を食べるということに対してお手伝いをする仕事。

② なぜSTになったの？

昔、祖母が脳卒中で食べる機能が低下しご飯を食べられなくなった。手足のリハビリは実施していたがSTがおらず食べるための訓練は行われなかった。ならば俺がなる！と思った。

③ 当院のSTの具体的な仕事は？

大きく分けると小児の発達障害と入院の方の嚥下障害に対するリハビリを実施している。

④ この仕事をしていてやりがいを感じる瞬間は？

全然食べられなかつた方がゼリー等を食べられるようになり喜んでいる時や担当の子どもさんの成長を感じた時。うるっとくる。

⑤ やりがいがあるお仕事ですがたまには息抜きが必要では？

釣りをする。週1回は行かないと仕事に集中できなくなります（笑）

⑥ STさんに相談したいことがある場合はどうすればよい？

当院では耳鼻咽喉科を受診していただければそこから我々に繋がる。リハビリテーション科はスタッフ一同、患者様の日常生活を少しでも豊かにするために日々様々な形でお手伝いをしていますのでこれからもよろしくお願ひします。



作業療法士：高杉 早紀

外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2016年12月9日現在)

診療科区分	月	火	水	木	金
循環器内科	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科	中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
	山本勝丸	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
	下山亜矢子	森本武史	森本武史	石岡佳子	森本武史
	—	石岡佳子	石岡佳子	—	—
消化器・血液内科	鎌田耕輔	佐竹立	佐竹立	鎌田耕輔	佐竹立
	松木明彦	山口公平	松木明彦	松木明彦	山口公平
	佐藤年信	松木明彦/立田卓登	佐藤年信	秋元直樹	佐藤年信
	石黒陽	石黒陽	—	石黒陽	石黒陽
小児科	杉本和彦	佐藤工	佐藤啓	佐藤工	杉本和彦
	三上珠希	岡本剛	三上珠希	岡本剛	佐藤啓
外科	柴田滋	中井款	柴田滋	中井款	三上勝也
乳腺外科	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	佐々木 静	秋元博之	秋元博之	休診 (手術)	秋元博之
	飯尾浩平	佐々木 静	飯尾浩平		佐々木 静
	藤田拓	飯尾浩平	(佐々木 静)		(飯尾浩平)
午後	—	—	—	休診	休診
脳神経外科	—	—	木村正英	—	—
皮膚科	午前 熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
泌尿器科	午後 ●予約	●手術/検査	●予約	●手術/検査	●予約
	午前 野呂大輔	野呂大輔	弘前大学医師	野呂大輔	野呂大輔
産婦人科	午後 検査	検査	手術	検査	手術
	阿部和弘	丹藤伴江	丹藤伴江	●妊娠健診 (一般外来休診)	阿部和弘
眼科	田中加奈子	淵之上康平	田中加奈子	●手術/検査	松村由紀子
	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義		蒔苗順義
耳鼻咽喉科	工藤直美	野村彩美	—	三國谷由貴	—
放射線科	診断 佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来	杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン	—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

ポリープを とってすっきり 岩木晴れ

(チロル)

定年して 仕事を終へ 病院通い始まる

(一の瀬雄一)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>